

<b>〔科目名〕</b> <b>管理会計論</b>	<b>〔単位数〕</b> 4 単位	<b>〔科目区分〕</b> 選択必修(経営学科)等
<b>〔担当者〕</b> 加藤 恵吉	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:木曜授業後休み時間 場所:講義の教室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義(問題演習等を含む)
<b>〔科目の概要〕</b> <p>本講義では、管理会計の学習において必要な、1年次で学んだ商業簿記及び工業簿記(原価計算)の基礎概念や個別原価計算・総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算等を主体にしつつ、その計算技法採用の歴史的背景や事実を織り交ぜながら講義を進める。加えて、バランス・スコアカードなど企業における原価計算・管理会計の事例や比較的新しい展開についても取り扱う。</p> <p>管理会計は、企業を経営するために必要な会計情報を提供します。管理会計の目的は、企業がさまざまな意思決定を行うことで適切な経営を行い、事業部やプロジェクトなどに細分化して業績を評価・分析することで企業の収益性を高めることにもあります。</p> <p>したがって、単に財務的なデータを作成するだけではなく、その結果を解釈して、その後の企業の意思決定行動に反映させることが必要になる。講義では、単なる計算問題の演習に留まらず実際の企業の事例等にふれつつ管理会計情報の作成とそれに基づく改善活動についても講義していきたいと考えています。</p> <p>講義では、実際に問題等を解くことで理解を深めるため講義中問題演習を行います。また、2コマ連続のため時折、関係する資料の輪読やビデオ教材も使用・視聴する予定です。</p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕</b> <p>当講義での学習に当たっては、会計の対象である経済活動、経営活動、ビジネス活動に対する理解も必要と考える。したがって、商業簿記、工業簿記、財務会計などの会計科目だけでなく経営学や、絶えず変化し続けている現代社会に対する時代認識、歴史認識も含めた科目を包括的に学習されることを望みます。</p> <p>また、日商簿記検定 2 級 1 級の試験にも本講に關係する計算問題等も含まれるので、簿記等の検定試験及び専門職への資格取得を目指しているものは積極的に学習していただきたい。</p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p>まずは、できれば日商簿記検定の資格取得を目指して学習していただきたいと考えます。</p> <p>さらに、企業においては、管理会計が理解でき、実践できる人材を欲しています。将来そのような人材になれるような礎を築くことも本講義の目標です。</p> <p>なお、講義においては理解度を深めるため実際の講義予定が前後する場合がありますので留意しておくこと。</p>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>問題点について同様の指摘が複数あったので以下のようにまとめて回答します。</p> <p>A. 授業速度・パワーポイントの画面切り替えが早いという指摘については、意見を基に配慮します。スクリーンの字が小さい点はレジメを配っているのでもちろん確認してもらえばと思いますが、できれば大きくするようにします。履修者のレベルにバリエーションがありますが、解説後もう少し時間を取り、解いてもらうようにします。</p> <p>A. 練習問題が難しい、簿記 2 級以上の問題が多々出てくる、進むのが早く授業内で理解が大変だった等の指摘に対しては、管理会計は会計分野のアドバンス科目であり、2級の工業簿記よりレベルを高く設定している所もあります。そのため、講義時間内の限られた時間内では難しいところもあったかと思えます。レベルが高い問題はもう少し解説を加えるようにしますので、皆さんも講義後復習をして理解できるようにしてもらえばと思います。会計系科目は反復復習が肝要です。ただ、皆さんきちんと勉強してるようで試験の出来は良かったです。</p> <p>A. 声が小さく後ろまで聞こえない、(パワポ)の薄い色の字が見えない点。          マイクの音声を適宜合わせます。聞こえないときは言って下さい。スライドの色については薄い色だと見えにくいプロジェクター上の問題もあると思いますので配慮して作成します。</p>		
<b>〔教科書〕</b> 岡本清 廣本敏郎 尾畑裕 挽文子『管理会計 第2版』中央経済社		
<b>〔指定図書〕</b>		

<p><b>〔参考書〕</b> 岡本清『原価計算』国元書房（問題等を図書館の蔵書で確認すると良いでしょう）</p>																			
<p><b>〔前提科目〕</b> 会計関連科目の「会計学基礎論」「商業簿記」「工業簿記」「財務会計」。 上記の科目を履修していないと理解は難しいかもしれません。</p>																			
<p><b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> ① レポート (30%) ② 期末試験 (70%) ③ 出席確認を行います 授業では問題演習も行います。</p>																			
<p><b>〔評価の基準及びスケール〕</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>グレード表記</th> <th>評 点</th> <th>グレード・ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>80 点以上</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>80 点未満 70 点以上</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>70 点未満 60 点以上</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>60 点未満 50 点以上</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>50 点未満</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		グレード表記	評 点	グレード・ポイント	A	80 点以上	4.00	B	80 点未満 70 点以上	3.00	C	70 点未満 60 点以上	2.00	D	60 点未満 50 点以上	1.00	F	50 点未満	0.00
グレード表記	評 点	グレード・ポイント																	
A	80 点以上	4.00																	
B	80 点未満 70 点以上	3.00																	
C	70 点未満 60 点以上	2.00																	
D	60 点未満 50 点以上	1.00																	
F	50 点未満	0.00																	
<p><b>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</b> 頭の中で計算システムを理解したと思っけていても、実際、計算してみると、きちんと計算できないことに直面することがあります。何回も問題を実際に手で解いて理解するようにして下さい。また、正確にスピーディに計算することも実際の資格試験では求められます。 なお、本務校の公務にてやむを得ず休講になる場合は、土曜日に補講を設定します。この点、留意しておいてください(補講通知は2週間前には掲示板等を通じて告知します)。</p>																			
<p><b>〔実務経歴〕</b></p>																			
<p>授業スケジュール</p>																			
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス及び管理会計を学ぶ上で必須な(商業・工業)簿記の復習・速習 内 容: 講義の進め方、問題演習 教科書・ 教科書及び各自持っている商業簿記及び工業簿記(原価計算)の本をもって来ること 配付資料</p>																		
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理会計の意義 内 容: 管理会計の意義 教科書・「管理会計」第1章 ・配付資料</p>																		
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理会計総説 内 容: 企業会計と会計情報システム 教科書・「管理会計」第1章</p>																		
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理会計総説 内 容: 企業会計と会計情報システム 教科書・「管理会計」第1章</p>																		
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 管理会計総説 内 容: 財務会計と管理会計の違い 教科書・「管理会計」第1章</p>																		

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):管理会計総説          内 容:経営管理者の職能、意思決定のプロセス          教科書・「管理会計」第1章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):管理会計の体系          内 容:組織化、統制と意思決定会計          教科書・「管理会計」第1章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):管理会計の体系          内 容:経営戦略の策定と会計          教科書・「管理会計」第1章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):管理会計担当部門          内 容:会社組織、ラインとスタッフ          教科書・「管理会計」第1章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):問題発見のための会計          内 容:財務諸表分析総説          教科書・「管理会計」第2章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):問題発見のための会計          内 容:財務諸表における収益性の分析          教科書・「管理会計」第2章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):問題発見のための会計          内 容:財務諸表における生産性の分析          教科書・「管理会計」第2章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):問題発見のための会計          内 容:企業業績の評価          教科書・「管理会計」第2章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):問題発見のための会計          内 容:損益計算書と財務諸表の総合分析          教科書・「管理会計」第2章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計          内 容:短期利益計画のための CVP 分析          教科書・「管理会計」第3章</p>
第16回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計          内 容:固定費と経営リスク          教科書・「管理会計」第3章</p>
第17回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計          内 容:損益分岐点分析・安全率          教科書・「管理会計」第3章</p>
第18回	<p>テーマ(何を学ぶか):予算管理          内 容:予算管理プロセス          教科書・「管理会計」第4章</p>

第19回	<p>テーマ(何を学ぶか): 予算管理          内 容: 予算管理システムの役割(計画機能・統制機能・調整)          教科書・「管理会計」第4章</p>
第20回	<p>テーマ(何を学ぶか): 予算編成と予算統制          内 容: 基本予算の校正とその編成          教科書・「管理会計」第5章</p>
第21回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業部の業績評価          内 容: 事業部の業績測定システム、コストセンターとインバストセンター          教科書・「管理会計」第6章</p>
第22回	<p>テーマ(何を学ぶか): 事業部の業績評価          内 容: 事業部間の振替価格と業績評価          教科書・「管理会計」第6章及</p>
第23回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営意思決定会計          内 容: 経営意思決定と差額原価収益分析          教科書・「管理会計」第7章</p>
第24回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営意思決定会計          内 容: 設備投資の意思決定          教科書・「管理会計」第7章</p>
第25回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営意思決定会計          内 容: NPPとIRR、資本コストとEVA          教科書・「管理会計」第7章</p>
第26回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略と管理会計          内 容: 事業戦略と管理会計、PPM          教科書・「管理会計」第8章</p>
第27回	<p>テーマ(何を学ぶか): 戦略的コスト・マネジメント          内 容: 戦略的コスト分析、原価企画          教科書・「管理会計」第8章</p>
第28回	<p>テーマ(何を学ぶか): 戦略的コスト・マネジメント          内 容: 活動基準原価計算(ABC)と活動基準原価管理(ABM)、品質原価計算          教科書・「管理会計」第8章</p>
第29回	<p>テーマ(何を学ぶか): バランス・スコアカード          内 容: 非財務指標としてのバランス・スコアカードの有用性          教科書・「管理会計」第8章</p>
第30回	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業の管理会計実務の実際及び総括          内 容: 企業の管理会計の実際、アメーバ経営、          教科書・配布資料及び問題演習</p>
試験	